

外部からの照会に対する対応

1 目的

水産試験場では水産業の振興を目的に、水産関連団体・加工業者を対象とした加工指導業務、小学校を対象とした校外学習サポートや一般向けのサービスを行っている。以下に平成 11 年度における各種外部対応の実績を示す。

2 加工指導業務

表 1 に過去 4 年間、利用化学科において対応した業界からの試験研究・指導助言等に関わる依頼・要請件数を示した。平成 11 年度は前年度とほぼ同数であった。

表 1 試験研究要請者の内訳および件数

要請団体・組織	備 考				
	H8	H9	H10	H11	
水産加工業界	15	28	17	16	民間水産加工業者
漁業者団体等	21	20	8	6	漁協、県漁連など
その他・行政	7	8	1	6	一般・行政組織・研修等
合 計	43	56	26	24	

注) 上記件数は公文書で依頼のあったもの

表 2 に主な課題別対応内容を示した。指導・助言課題数は前年度に比べ大きく減少した。今後、消費者保護に関する行政指導の推進が随時実施されていくが、原産地表示、腸炎ビブリオ対策などに関連する指導助言事項が増加することが予想される。

表 2 主な課題別試験研究および指導・助言内容

< 課 題 > 内 容	水産加工業界				漁業者・団体等				行政・一般他			
	H8	H9	H10	H11	H8	H9	H10	H11	H8	H9	H10	H11
< 技術開発試験 > 製品開発、品質・工程改良に関するもの	16	18	19	15	43	10	8	2	6	11	3	2
< 品質管理 > 鮮度、衛生管理などに関するもの	18	34	22	9	35	23	12	4	8	13	2	3
< 品質評価試験 > 製品分析、貯蔵性評価に関するもの	19	38	21	8	30	17	7	3	5	13	2	0
< その他 > 水質調査・養殖環境等に関するもの	0	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	0
合 計	53	91	62	32	109	50	28	9	21	38	8	5

注) 要請件数 1 件に複数の課題があるため、課題数は要請件数に比べ多くなっている。

表 3 に食品の品質検査に係る分析項目および分析数量について示した。分析項目は微生物検査、一般成分分析、水質分析を含むその他の 3 区分に大別した。平成 11 年度は衛生管理技術に関わる微生物検査が前年同様、全体の 60% 弱を占め、業界の中で依然大きな課題であることが伺われた。

表 3 平成 11 年度実施分析項目・分析数

分析項目	分析数	主な分析項目内容
微生物検査	68	一般生菌数・大腸菌群・腸炎ビブリオ他
一般成分	48	水分量・粗蛋白質・粗脂肪・灰分他
その他	0	溶存酸素・重金属類・水質評価指標など
合 計	116	

3 海の博物館と校外学習

表 4 に水産試験場に併設されている「海の博物館」への来場者数を示す。年間のべ 7 千人の人が来場しており、特に幼児、

小学生の来場が多い。また、県内だけでなく、隣県からも多くの人々が来場している。

表 5 に小学生を対象とした校外学習サポートの実績を示す。石見西部地区から 9 校、出雲地区からは 8 校の依頼があり、水産業や環境に関する学習指導を行った。また、漁業者および一般からも学習依頼があり、沿岸漁業や栽培関係および養殖に関する講習や視察対応を行った。

その他、夏季には海辺の教室を開催し、磯の生物の観察や海藻標本の作り方の講習を行った。

表 4 平成 11 年度の海の博物館への来場者数 単位：人

年度	幼 児	小・中学生	高・大学生	一 般	計
1 1	1,974	1,838	249	2,942	7,003
	県内(70.3%) 中国地方(22.2%) 四国・九州地方(1.4%) その他(6.1%)				

表 5 平成 11 年度の校外学習サポートの実績

石見地区			出雲地区		
学校名	学年	人数	学校名	学年	人数
福波小学校		50 名	掛合小学校	5 年生	22 名
岡見小学校	5 年生	17 名	恵曇小学校	5 年生	46 名
上府小学校	5 年生	13 名	佐田小学校	5 年生	22 名
原井小学校	5 年生	44 名	東小学校	5 年生	26 名
後野小学校	5,6 年生	11 名	惣津小学校	全校生徒	60 名
三階小学校	4 年生	47 名	寺領小学校	3・4 年生	38 名
安城小学校	1,2 年生	21 名	鹿島中学校	2 年生	5 名
雲雀小学校	5 年生	21 名	今市小学校	5 年生	74 名
津宮小学校	5,6 年生	160 名			
(一般学習支援) ・本 場：2 件 16 名 ・鹿島分場：5 件 74 名			(海辺の教室) ・石見海浜公園で開催(共催 石見海浜公園) 対象：小学生 19 名、幼児 2 名 ・美保関町惣津海岸で開催(共催 松江水産事務所) 対象：小学生 30 名		

4 問合せに対する対応

表 6 に水産試験場に寄せられる問合せの状況を示した。平成 11 年度はマスコミ、水産関係者、官公庁、一般等からか 133 件の問合せがあった。なお、加工・流通に関する問合せ件数は、利用化学科で対応した分を除いた数を示している。

表 6 平成 11 年度水産試験場へ寄せられた問合せ(海洋資源科、漁場開発科、鹿島分場受)

問合せ内容	問合せ所属名							計
	マスコミ	一般	官公庁	学校	水産団体	漁業者	一般企業	
環境・生態	13	16	15	9	6	7	5	71
漁業・資源	11	5	17		11	3	2	49
加工・流通	1	1	5		1		1	9
その他			2	1			1	4
計	25	22	39	10	18	10	9	133

注) 加工・流通に関する問合せは利用化学科で対応したもの除いた件数。